



よさこい祭りでおどっている外国人の人

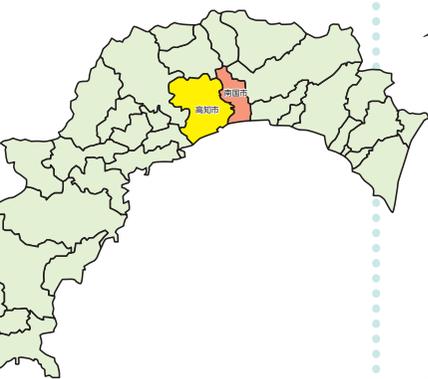
写真や資料から、気づいたことを話し合ひましょう。

## ② 国際交流に取り組んでいる地いき ～高知市～

高知市に住む外国人の人 高知市で毎年8月に行われているよさこい祭りでは、外国から来た人が多く見られます。

こうじさんたちは、写真やグラフなどを見ながら、気づいたことを話し合ひました。<sup>5</sup>

高知市の位置



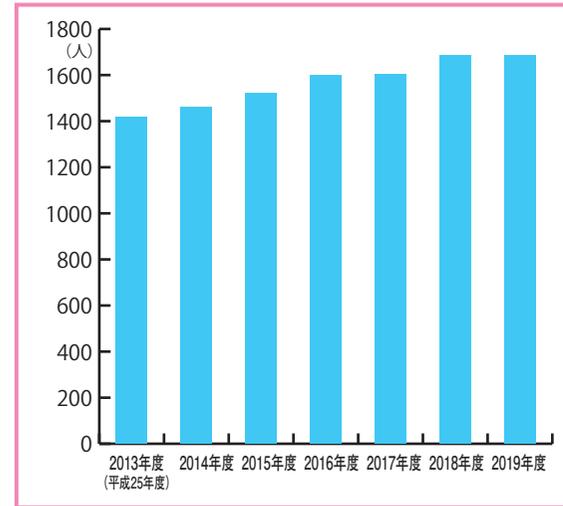
こうじ

外国人の方も楽しそうにおどっているね。よさこい祭りは、前に見に行ったことがあるけれど、祭りを見に来ている外国人の方もたくさんいたよ。

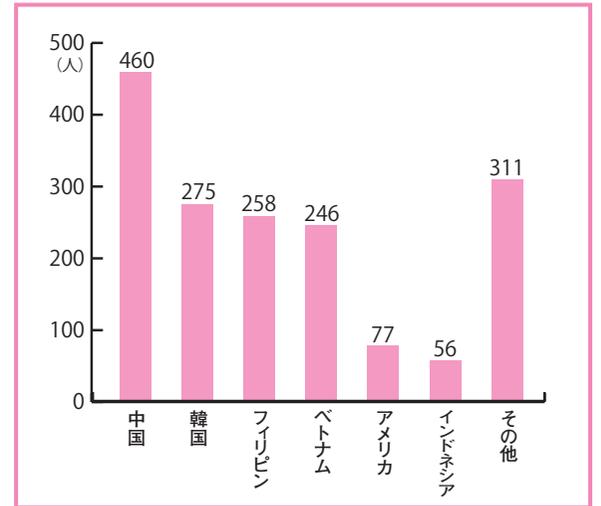
祭りなどの観光客ではなく、ふだんから高知市に住んでいる外国人の方はどのくらいいるのかな。



くみ



高知市の外国人住民数の変化 (高知市)



高知市の外国人住民の国別人数 (2019年 高知市)



けん

高知市に住む外国人の人がふえているよ。

県内では、外国人は高知市に一番多く住んでいるそうよ。



なな

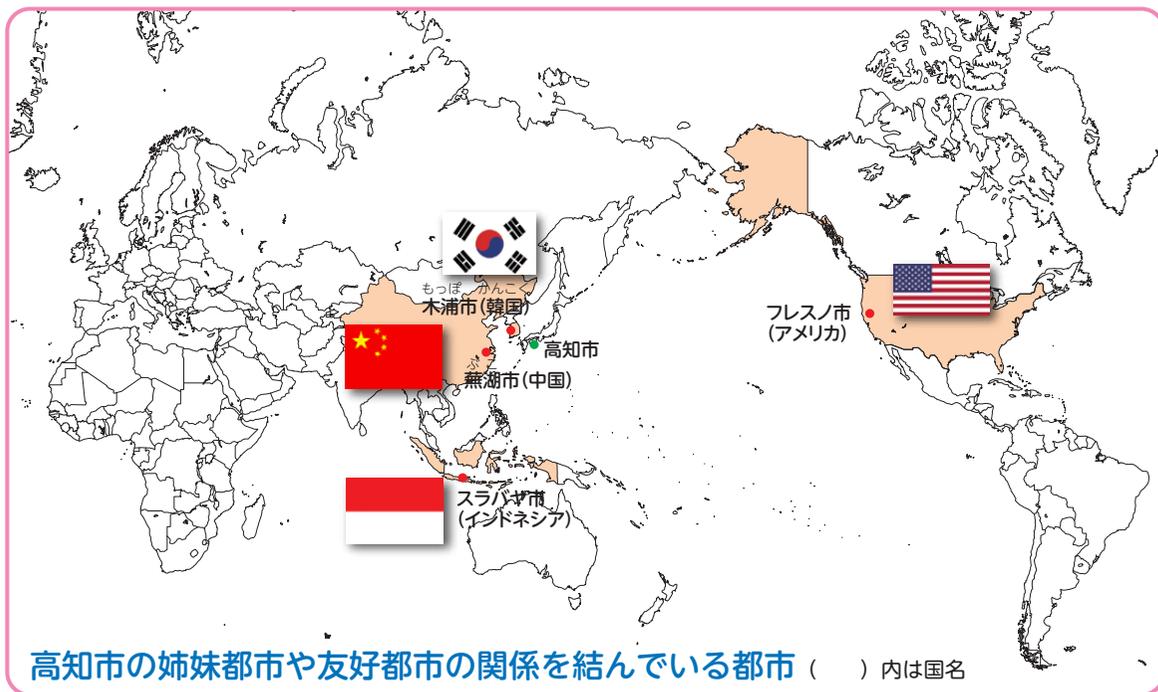
高知市に住んでいる外国人は、高知での暮らしをどのように思っているのかな。

高知市では、外国人の人々と何か交流をしているのかな。



こうじさんたちは、高知市の人々は、外国人の人々と、どのような交流をしているのか調べることにしました。

なぜ外国人住民はふえているのだろう。



高知市の姉妹都市や友好都市の関係を結んでいる都市 ( ) 内は国名

高知市は、外国の人やまちと、どのような交流をしているのだろう。

国際交流の取り組み 高知市は今、四つの外国のまちと姉妹都市や友好都市などの関係を結んで交流しています。



国旗

国旗は、その国をあらわす印として使われる旗で、世界のどの国にもあります。国旗には、その国の人々の願いや思いがこめられています。国と国が交流するときには、おたがいの国旗を大切に扱わなければなりません。



けん

日本から遠くはなれた国とも交流があるんだね。

市は、どのような取り組みをしているのかな。



こうじ

こうじさんたちは、市役所で国際交流の取り組みについてたずねてみました。



スラバヤよさこいフェスティバルの様子

高知市では、いつごろから外国との交流を始めたのだろう。

市役所の人のお話

高知市の交流の相手には、姉妹都市や友好都市などがあります。相手の都市に行ったり、高知に来てもらったりして、おたがいの国の文化などを知る活動をしています。



そのほかに、外国から来た方によさこい祭りに参加してもらったり、外国で行われているよさこい祭りを支援したりしています。

最近では、高知新港に立ち寄るクルーズ船の外国人観光客を案内することもふえています。

アメリカのフレズノ市とは、市民どうしが中心となって交流がすすんでいるそうよ。



なな

年	できごと
1965 (昭和40)	フレズノ市と姉妹都市になる。
1985	蕪湖市と友好都市になる。
1989 (平成元)	高知市制100周年記念パレードに姉妹・友好都市から訪問団を受け入れる。
1990	高知県国際交流協会(KIA)ができる。
1992	市の総務課に国際平和係(現在の国際平和・文化担当)をつくる。
1993	蕪湖市に「蕪湖・高知友好会館」が建てられる。
1997	スラバヤ市と姉妹都市になる。
1998	高知新港とタンジュンペラ港(スラバヤ市)が姉妹港となる。
2001	「高知城築城400年祭 高知サミット」に姉妹・友好都市関係者を受け入れる。
2003	第1回スラバヤよさこいフェスティバルが開かれる。
2012	木浦市と友好交流協定を結ぶ。

高知市の国際交流に関する年表



国際ふれあい広場inこうちの様子



親子で学ぶ国際理解講座（外国料理教室）の様子



日本語教室の様子



KIAが発行している多言語防災パンフレット

ケア KIAでは、どのような交流の取り組みが行われているのだろう。

●多文化共生

日本には日本の、外国には外国の、それぞれの国ごとに文化があります。おたがいの文化のちがいをみとめ合い、地いき社会の中で対等な立場でくらすことをいいます。

●国際協力の日

1987（昭和62）年、政府が国民に国際協力への理解と参加をよびかけるために決めました。

多文化共生の地いきづくり 市役所の近くにある高知県国際交流協会（KIA）では、市や県と協力して、さまざまな交流活動や、外国人住民と日本人住民が地いきで共生していくための取り組みを行っています。

毎年10月には、国際協力の日を記念して、大きなイベントを高知市で行っています。また、親子の外国料理教室を開いて、ふだんとちがう食材を使ったり食べたりして外国の文化を知ってもらう活動も行っています。



国際交流員による小学校での交流

国際交流協会の人のお話

KIAは、市や県の国際交流員や留学生らと協力して、日本人に外国の文化を伝える活動もしています。大人だけでなく、県内の小・中・高校などにも行き、国のしょうかいをしたり、歴史や文化について伝え合ったりしています。

外国人向けには、言葉やくらし、災害時などのサポートをする取り組みをしています。2019年には、高知県外国人生活相談センターを開設し、外国人の方が安心して生活できるよう手助けをしています。



●国際交流員

国際交流を進めるために、県や市町村が行う交流事業への企画・通訳・参加などを仕事とする外国人のこと。

●留学生

学問や日本の文化などを学ぶために、外国から日本に来ている外国人の学生のこと。



外国人の相談にのる職員

外国人にとっても、日本人にとっても、住みやすいまちになるように取り組んでいるのね。



くみ



日本語ボランティアの学習会の様子



外国人との共生に向けた  
講演のお知らせ

まちの人はどのような交流をしているのだろう。

交流を続けるためには こうじさんたちは、外国から来た人々とどのような交流が行われているのか、さらに調べてみました。



キア KIAなどが中心となって、まちの人からボランティアを集めて、外国の人に日本語を教えるための学習会を行っているそうよ。

外国の人をやとっている日本の会社や役場の人たちに、かかわり方を学ぶ講演会も行っているよ。



### おせっかい協会のお話

高知を訪れる外国人がふえることから、わたしたちに何かできることはないかを考えるところから、取り組みが始まりました。わたしたちは、外国人観光客への案内、商店向けの接客講座やメニューなどの翻訳など、外国の方と気軽に交流できる場づくりを目指して取り組んでいます。

### 外国から来てホームステイをした高校生の話

言葉のちがいが一番の不安でしたが、高知で出会った人たちが親切に教えてくれました。ホームステイで日本の伝統や文化を学ぶことができ、これからもこういう関係が発展して、いろいろな交流ができてほしいと願っています。

### 外国を訪問した高校生の話

現地のみながわたしたちとたくさんコミュニケーションを取ろうとしてくれてうれしかったです。毎日、日本とはちがう点を発見することができ、それを受け入れることが異文化理解なんだなと感じました。

こうじさんたちは、市や県、その他の団体や地いきの人々が協力して、外国から来た人々と交流を行っていることを知りました。そして、外国から来た人々とこれからも交流を続けていくために、どのようなことが大切なのかを話し合いました。

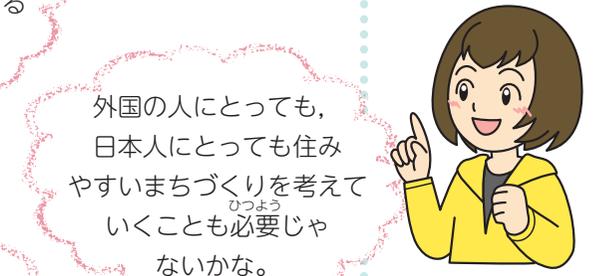
外国から来た人との交流を続けるためには、どのようなことが大切なのだろう。



外国から来た人の生活習慣の中には、わたしたちとはちがうところがあることを知ることが大切だね。



いろいろな活動を通して交流を深めながら、おたがいに分かり合っていくことがとても大事だと思うよ。



外国の人にとっても、日本人にとっても住みやすいまちづくりを考えていくことも必要じゃないかな。